

本学卒業生 松本祐一氏、「武満徹作曲賞」で第1位受賞

茨城大学工学部電気電子工学科卒業生の松本祐一氏が、2008年度武満徹作曲賞(東京オペラ文化財団制定)において第1位を受賞しました。

(詳細は東京オペラシティ文化財団HP <http://www.operacity.jp/concert/topics/080525.php>)

受賞作品「広島・長崎の原爆投下をどう思いますか?」は受賞作品のタイトルの質問(アンケート)に寄せられた匿名の回答を日英2カ国語でコンピュータが読み上げ、そのテキストを品詞分解し、メロディとして変換していくというアンケート・アートという作曲方法で作成されたもの。文法構造の名詞や動詞など、「品詞」というものに着目し、非常に知的にシステムを作りあげている点は、知的な音楽というだけでなく、力強い情感をもって心に結びつくものであるという点を高く評価されての受賞となりました。

松本氏が作曲を師事されたという早川和子教育学部教授は、「松本祐一さん、『武満徹作曲賞』受賞おめでとうございます。5月25日(日)東京オペラシティ・コンサートホールでの本選会で、演奏される場に立ち合え、すばらしい作品であることが確認出来、とてもうれしく心からお祝い申し上げます。大学時代もそれ以降も、ずっと私の作曲の指導を素直に受け入れ、腕を上げてこられました。27ヶ国76作品の中から、ライヒ氏によって第1位に選ばれることは、すごい事です。どうぞ、これからも頑張って、ますます良い作品を書き続けてください。期待しております。」と学部を越えた教え子の受賞に感激していました。

なお、松本祐一氏から在学生へメッセージをいただいております。

「僕はこのアンケート・アートというものを6年間やり続けてきました。継続は力なりです。そしてずっと前から、スティーブ・ライヒ(今回の審査員)に会いたいと言い続けていました。ずっと言い続けてれば実現するというのも、本当なんだなと思いました。自分の信念を持って継続していくことは大事だと思います。最後になりますが、学部を超えて面倒を見てくれた早川先生ありがとうございました。そして次回作のアンケートを集めています。是非アンケートにご協力ください。<http://www.enquete-art.org/>